

子ども読書支援情報誌

しえん

Shien 第20号 記念号

携帯用QRコード



こどもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)する
そんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成27年9月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

- ささやかだけど粘り強く 1
- 連載：おはなし・読み聞かせ実践講座⑳ . . . 1
- 連載：子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑳・2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から 2
- ブックリスト担当から 3
- インターネット情報からの情報収集担当から . . . 3
- 記念特集！ Shien 第1～20号 索引 4
- 私の思い出 この1冊 5
- 図書館と県民のつどい埼玉2015 6
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣 . . . 6

ささやかだけど粘り強くー子ども読書支援センターが丸10年となりました！

私が県立久喜図書館の児童サービスを担当してから早7年。たくさんの方にお世話になってきましたが、講師の方をはじめ、ボランティアさん、司書仲間、こどもたちや保護者の方々とのやりとりの中で、「なるほど！」と仕事の参考になることが多々あります。たとえば「浦和子どもの本連絡会」の近藤幸子さんの「地域のこどもは地域で育てる」ということば！ボランティアさんが小学校や特別支援学校（級）で読み聞かせした時のこどもたちの反応や良かった絵本のことなどなど…。出会ったご縁を大切に、教えていただいたことをこどもの読書に関わる方への支援につなげる、これもネットワークのひとつだと思います。



平成17年4月に「子ども読書支援センター」を立ち上げてから丸10年。そして、平成18年3月に「こどもの読書に関わる方の活動とネットワークを支援する」という大きな願いを持ったささやかな情報誌として誕生したこの『Shien』も、今回で20号となりました。『Shien』は県内のこどもの読書に関わる方の活動やアドバイス、こども読書関連情報などを発信してきましたが、当初の願いどおり、皆さまの情報源としてお役に立っているでしょうか。

「子ども読書支援センター」の立ち上げに関わった先輩たちの思いを考えると、まだまだ志半ばといえるかもしれませんが、ささやかなことを積み重ねて、こどもと、こどもの読書を応援する人のお役に立ちたいと願っています。

山元 明美（県立久喜図書館 子ども読書支援センター 司書）

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑳

読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。

今回は、知っておきたい！“知って得する”小学校ではじめての〈読み聞かせ〉

Q：どんなことに気をつけたらいいの？

- ① いろいろな方の読み聞かせを、できるだけたくさん聞いてください。（とにかく《耳》と《目》を育てましょう！）
 - ② 読む本に愛(Love)を持って向き合ってください。
 - ③ 開き癖をしっかりとつけ、ページをめくる練習をするなど、下読みがとても大事です。
-
- ① はっきりした声で。（大声でなくても大丈夫。しっかりと口を開けてください）
 - ② 本は常にこどもたちに見えるように。持つ位置はぶれないように気をつけましょう。（読むことに集中しすぎて、自分の手や身体が本に被ってしまうことも。照明も邪魔になることがあるので注意して。）
 - ③ 服装は普段着で。目立つアクセサリーや華美な服は「本」の邪魔をしてしまいます。



はじめの
一歩



《読み聞かせ初心者 春～初夏 低学年向けお薦めのプログラム》	
1『これはおひさま』	(谷川俊太郎ぶん/大橋歩え/ 復刊ドットコム)
『ぼくだんごむし』	(得田之久ぶん/たかはしきよえ/ 福音館書店)
2『だいくとおにろく』	(松居直さく/赤羽末吉え/ 福音館書店)
『しりとりのだいすきなおうさま』	(中村翔子作/はたこうしろう絵/ 鈴木出版)

初めの頃は、緊張して当たり前。
「一話一会」
その時間をこどもたちと存分に
楽しんでください。

中北（子ども読書支援ボランティア）

Q：選書で注意することって、いろいろありすぎてわかりません。

何よりも、自分が「いい」と思った作品が一番。でも、決定する前に必ず音読してみてください。口に出して読んでみると、思っていた印象と違うことが。「あれ？」と、感じたら、その『本』はあなた向きではないかもしれません。別の作品も当ててみて。

読み聞かせ《初心者》の方はまず、1年生の教室に入ることが多いです。
絵や字がはっきりしていて季節感やリズム感のあるもの、5～7分で読めるものがお薦め。（一人で入ることはまずありません。読み聞かせの先輩と入るのが普通です。事前に時間配分など打ち合わせをしておきましょう。）

蓮田おはなしの会は、35名の会員で活動しています。

保育園・学校・学童保育所・作業所・図書館等で、こどもたちに昔話を語ってきた会でしたが、最近では各自治会が催す、地域サロンに呼ばれることも多くなりました。聞き手も、幼児から大人【シルバー】までと幅広くなってきて嬉しい限りです。特にシルバー世代の方達は、童心に返ったようで昔話に出てくる道具など懐かしそうに話し、次々と話題が広がって顔がキラキラ輝いてきます。一番楽しい聞き手です。

もう一つ嬉しいことは、今から7年前になりますが、おはなし会のお話を聞いて育ったという20代の女性が入会したことです。今、その方は図書館司書としても活躍し、おはなしの種を蒔いています。私たちが種を蒔いてから20年・・・花が開いたことを目の当たりにして感動しています。

今年は、創立25年という節目の年です。

今、絵本を取り巻く環境は変化してきました。

私たちは、何をこどもたちに手渡したらいいかと思案して、絵本講座を開き語りとともに協調し合える絵本を探して、ロングセラーの本や、新刊本から勉強しなおしています。

さまざまなニュースを聞いたたびに、今こそ昔話の知恵や勇気、人を愛する心、人を思いやる心を伝えなくてはと痛感しています。今日もどこかで、会員の誰かが、おはなしの種をまいています。

大場 淑子（蓮田おはなしの会）



Nice to meet you ! 子ども読書支援ボランティアです。

このコーナーでは、私たち3グループの活動の一端をご紹介します。

今回ご紹介するのは、埼玉県内の図書館で行われた
様々な取り組みの様子を伝える記事です。

きりぬき羅針盤



子ども向け福袋 貸し出し
袋の3冊 どんな本？
さいたま市立武蔵浦和図書館
(読売新聞 朝刊
2015. 1. 6 32頁)

意外な本の味見つけて
作者・タイトル隠し貸し出し
三郷市立図書館が
「やみなべとしゃかん」
(朝日新聞 朝刊
2015. 2. 7 23頁)

新聞・雑誌クリッピング担当から
司書が選ぶ「イチオシ本」
高校生に読んでもらいたい
書店・図書館でブックフェア
(朝日新聞 朝刊
2015. 3. 17 28頁)

公立図書館 若者集え
鶴ヶ島市
ライトノベルを前面に
飯能市
高校生とお薦め本交換
(日本経済新聞 朝刊
2015. 4. 8 31頁)

面白い本 児童にどんどん紹介
はぐくむ としょかんくらぶ
三芳町立図書館
(朝日新聞 朝刊
2015. 4. 21 26頁)

幼児期の読書残して
さいたま市立図書館
ダイアリー配布
(埼玉新聞 朝刊
2015. 6. 5 12頁)

図書館に赤ちゃんタイム
深谷市
「にぎやかでも理解を」
(日本経済新聞 朝刊
2015. 7. 1 35頁)

記事の原本は
県立久喜図書館の
こども室で見られます！
子ども読書関連新聞記事は
ウェブサイトに掲載中！

「読書を楽しめる小学生を増やそう」、「ネット世代の中高生の読書離れを何とかしよう」、
「子育て中でも気軽に図書館へきて！」そんな願いを込めて、
図書館ではあらゆる年齢のこどもたちへの読書支援が行われています。
「図書館変わった！」かも…近くの図書館に出かけてみてください。

井上（子ども読書支援ボランティア）



使えるブックリスト

ブックリスト担当から

学年別の「季節ごとのおすすめ読み聞かせリスト」

今回は小学校高学年と中学生向けの📖のプログラムを作ってみました。

高学年になると、興味の範囲や深さが一段と広がってきます。こどもたちの「知りたい」「感じたい」気持ちに少しでも応えられる本をと、グループの知恵を絞りました。その中から、2つを紹介します



高学年

写真絵本は、じっくり見せてあげて

- ①『けものたちのみち』(3分)
宮崎学さく/福音館書店
- ②『ライオンのみつ』(10分)
マーガレット・ワイルド文/
リトバ・ポウティラ絵/木坂涼訳/
国土社
- ③『つるによぼう』(8分)
矢川澄子再話/赤羽末吉画/
福音館書店

②は、ファンタジーを選ぶか、日本の昔話を選ぶかで、大分雰囲気が変わってきます。どちらも捨てがたい究極の選択!! 本選びを楽しんでください。

全リストはココから web トップブックリスト

富士山を満喫しよう

短歌や文学の題材になったり、命がけの冒険の場になったり。日本人にとって、富士はやっぱり特別な山!

中学生

- ①『富士山うたごよみ』
俵万智短歌・文/
U. G. サトー絵/
福音館書店
より、冬の短歌を選ぶ。
- ②『富士山にのぼる』(10分)
石川直樹著/教育画劇



中学生には、詩を組み合わせるプログラムもおススメです。
『小さなかがやき』(長倉海洋写真/谷川俊太郎詩/偕成社)
のような写真と詩のすばらしいコラボレーションもありますので、ぜひチェックしてみてくださいね。

甲斐 (子ども読書支援ボランティア)

知っ得情報!

インターネット情報からの情報収集担当から

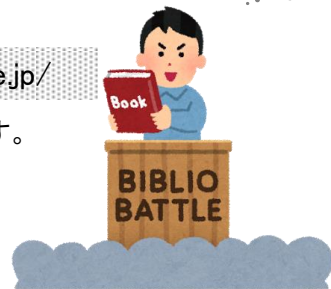
** おすすめウェブサイトの紹介 **



☑ 知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト

<http://www.bibliobattle.jp/>

最近話題のビブリオバトルについては、この公式サイトに尽きると思われます。普及委員会の公式サイトなので、ルール・手順・タイマー情報など、ビブリオバトルの全てがわかるサイトです。



☑ ビブリオバトル(東京都立図書館)

<http://www.library.metro.tokyo.jp/reference/bibliobattle/tabid/3700/Default.aspx>

「都立高校生 言葉の祭典」の開催の様子や、ビブリオバトルに参加するまでの本の選び方などが掲載されています。

☑ ビブリオバトル(三郷市図書館)

<http://www.lib.misato.saitama.jp/contents?3&pid=309>

三郷市図書館でのビブリオバトル入門講座や実際のビブリオバトルの開催情報、ビブリオバトル関係の書籍などについて紹介されています。



最近話題の**ビブリオバトル**についてのホームページを取り上げてみました。

色々な地域・年代でビブリオバトルの大会が行われているようです。ウェブサイト等で調べて参加してみるのもいいのではないのでしょうか。

坂本 (子ども読書支援ボランティア)

詳しくは、埼玉県立図書館のウェブサイト <https://www.lib.pref.saitama.jp/>

「子ども読書支援サービス」ページをチェック!

■ あ ■

- 【団】あいのみ文庫(越谷)：5
 【巻】あいのみ文庫30年の願い：15
 【実】赤ちゃんむけのおはなし会：18
 【実】いい本を選ぶことが第一：4
 【実】一番大切なのは本選び：3
 【巻】いつでも・どこでも：18
 【巻】いま思う「生きる力」を手渡そう：12
 【団】浦和子どもの本連絡会：1
 【巻】EhonCafeここは出会いの場：14
 【情】オーサー・ビジット：5
 【団】大里・児玉地区おはなし
 ボランティア連絡協議会：6
 【ブ】おかあさんや先生に
 読んでもらう本：4
 【情】おとうさんの読み聞かせ：5
 【ブ】おおすすめの紙芝居リスト：6
 【報】おはなしボランティア指導者
 養成講座：3、4
 【広】『親子で楽しむあかちゃん
 えほん』刊行案内：16、17、18

■ か ■

- 【実】学校での朝の読み聞かせ：2
 【情】学校図書館：4、14
 【団】学校図書館を考える
 ・埼玉ネットワーク：3
 【情】家庭での読み聞かせ：10
 【団】かにかにこそこそ(三芳町)：18
 【情】紙芝居：6 【実】紙芝居：17
 【団】カリヨン文庫：11
 【団】川口あそびと読書連絡協議会：19
 【団】川越いろりばなしの会：15
 【ブ】季節の読み聞かせリスト：3
 【団】北本子どもの本を楽しむ会：13
 【団】久喜市立本町小学校
 図書ボランティア：8
 【団】久喜北陽高校図書委員会：10
 【ブ】高学年におすすめ本(苦手)：15
 【案】講師派遣：10、11、12、13、
 14、15、16、17、18、19、20
 【実】高齢者施設の読み聞かせ：5
 【情】国際子ども図書館：3
 【情】個人学校からの情報発信：11
 【団】子育て応援団いちご畑(久喜市)：12
 【巻】こどもと一緒に楽しみながら…：17
 【報】子ども読書活動交流集会 H17
 (竹内愨氏)：1
 【案・報】子ども読書活動交流集会
 H18：2、3
 【報】子ども読書支援関連事業：5、7
 【ク】子ども読書支援センター：3
 【報】子ども読書支援センター相談事例：3
 【情】子ども読書の情報館(JPIC)：6
 【情】こどもの読書：1
 【団】この本だいすきの会：7
 【ブ】5分本を使ったプログラム：8
 【ブ】怖いおはなしの読み聞かせ：5

■ さ ■

- 【ク】埼玉県推奨図書30冊：4
 【ク】埼玉県内図書館の取り組み：20

- 【広】埼玉県立久喜図書館(休館)：19
 【情】埼玉県立図書館：4
 【団】さいたま市立大砂土小学校
 図書ボランティア：9
 【巻】ささやかだけれど粘り強：20
 【団】狭山地域文庫連絡会：2
 【コ】Shienくん：7、8、9、10、11、
 12、13、14、15、16、17、18、19、20
 【巻】支援センターまもなく2年：3
 【ブ】時間別(3分)：7
 【ブ】時間別(5分)(10分)：8
 【ブ】時間別ブックリスト作成中：6
 【ブ】10分秋：10
 【ブ】10分夏：10
 【ブ】10分春プログラム：9
 【ブ】10分冬：11
 【ク】授業で使う学校図書室：8
 【実】小学校ではじめての読み聞かせ：20
 【情】震災と読み聞かせ：13
 【ク】新聞クリッピング作業紹介：1
 【団】ずくぼんじょ(ふじみ野市)：16
 【実】ストーリーテリング：9
 【実】素ばなしの力：1
 【団】すぶんふる(富士見市)：17
 【ク】世界の子どもの本展：17
 【ク】セカンドブック：16

■ た ■

- 【巻】だからおはなしはやめられない：11
 【報】地域子ども読書支援 H18：3
 【報】地域子ども読書支援 H19：4
 【巻】地域のこどもは地域で育てる：19
 【団】ちちぶつくねと(秩父地域
 読書ボランティア連絡協議会)：4
 【実】中学生への読み聞かせ：14
 【実】中学生への読み聞かせ2選書：15
 【実】中学生への読み聞かせ3
 ブックトーク編：16
 【ブ】中学生におすすめ本(苦手)：16
 【ブ】中学年におすすめ本(苦手)：14
 【巻】ちょっと離れたところから：8
 【情】手遊び・わらべうた：7、15
 【ブ】低学年におすすめ本：13
 【ク】点字つき絵本：9
 【実】導入：13
 【実】特別支援学級の読み聞かせ：8
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2007(長谷川節子氏)：4、5
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2008(中川李枝子氏)：6、7
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2009(工藤直子氏)：8、9
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2010(落合恵子氏)：10、11
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2011(あさのあつこ氏)：12、13
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2012(分科会ブックトーク)：14、15
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉
 2013(分科会絵本)：16、17
 【案・報】図書館と県民のつどい埼玉

2014(分科会わらべうた)：18、19

■ な ■

- 【実】長続きする活動のために：6
 【ク】日本発☆子どもの本、海を渡る：11
 【情】日本書籍出版協会：2
 【情】乳幼児向け読み聞かせ：12
 【報】布絵本モニター調査：2
 【団】布絵本製作ボランティアつくし：14

■ は ■

- 【ブ】配布用プリント作成：4
 【実】初めてお話をする人に向く話：10
 【巻】はじめに(Shien創刊)：1
 【団】蓮田おはなしの会：20
 【ク】東日本大震災子ども読書支援：12
 【ク】被災各地での読み聞かせ：13
 【巻】ひとつぶのたねから：16
 【ク】ビブリオバトル：18、19
 【情】ビブリオバトル：20
 【案】広げよう読み聞かせ・
 ストーリーテリングの輪：2、8
 【ク】ブックスタート：5
 【情】ブックトーク：9、17
 【情】ブックリスト：16、18
 【ブ】ブックリストグループ作業：1
 【ブ】ブックリストの選書方法：2
 【実】プログラム作り：7
 【情】文学賞・受賞作品：8
 【報】ボランティア養成布絵本講座：4
 【ク】本が子どもに与える力：7
 【ク】本に関する記事紹介：2
 【ブ】本の苦手な子その3作成中：12

■ ま ■

- 【実】昔話の魅力：19
 ■ や ■
 【情】やまねこ翻訳クラブ：4
 【情】ヤングアダルト：19
 【ク】幼児期から読書の習慣：10
 【ブ】読み聞かせ秋(高・中学生)：18
 【ブ】読み聞かせ秋(低・中)：17
 【ブ】読み聞かせ冬(高・中学生)
 プログラム：20
 【ブ】読み聞かせ冬(低・中)：19
 【案】読み聞かせボランティア
 ステップアップ講座(H20)：6
 【ブ】読み聞かせ春15分(小学生)：1

■ ら ■

- 【ク】連載「絵本がともすあかり」：6
 【ク】連載「絵本の力」：14
 【ク】連載「絵本の読み聞かせ」：15
 【ク】連載「教育ルネッサンス」：14

■ わ ■

- 【巻】忘れてはいけない数字『1』：13
 【巻】私の悩み? 始めてはみたけれど：5
 【巻】私の悩み朝読書の15分…されど15分6
 【巻】私の悩みボランティアは必要なのか：4
 【巻】私の願い学校図書館にもっと本を!：9
 【巻】私の願い広がれ! 読み聞かせの輪：10
 【巻】私の願い毎日おはなしが聞ける
 教室に：7
 【実】わらべうた：11、12

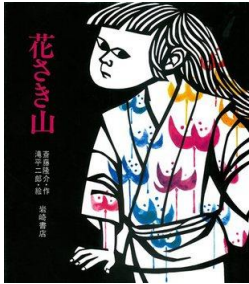
私の思い出 この1冊

長いようで短い10年。
みなさんにとって、それは
どんな時間でしたか？
今回は20号記念特集として、
Shien 編集に携わる
ボランティア、県立図書館職員が
これまでを振り返り
「今まで出会った児童書の中で、
最も心に残る思い出の1冊」を
紹介します。

※ここで紹介した本は、
H27.8現在、県立図書館で所蔵しています。

『花さき山』

斎藤隆介作/滝平二郎絵/
岩崎書店/1969



二十歳のころ、人間関係につかれ休養中の私に母が手渡してくれた本。絵本の力を見直したことを母の笑顔と共に思い出します。

(ボランティアN. A)

『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン作/
安東次男訳/岩波書店/1980



小1の夏休み、引っ越し先の書店で出会った本です。荷物が届く前の日の晩をこの本を読んで過ごしました。

(ボランティアO. S)

『はしる はしる とつきゅうれっしゃ』

横溝英一さく/福音館書店/2002

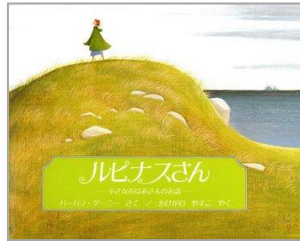


電車好きの息子と読んだ本です。今夏、息子とスーパーあずさに乗って、この本で電車についてたくさんを覚えてもらったことを思い出しました。

(ボランティアS. Y)

『ルピナスさん』

バーバラ・クーニーさく/
かけがわやすこやく/ほるぷ出版/1987



「女がひとりで生きていって、やっぱり大変なことだよ」と言いながら、友人が饞別に贈ってくれました。以来、わが心の一冊に。

(ボランティアK. T)

『ぬくい山のきつね』

最上一平作/宮本忠夫絵/
新日本出版社/2000

大人になって初め

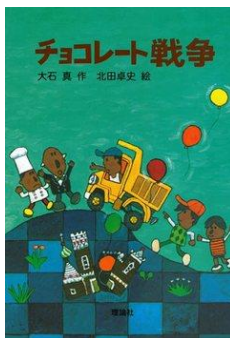


てこの児童文学に触れた夜、心打ち震え明け方まで涙しました。大切な一冊です。以来最上文学をこよなく愛しています。

(ボランティアS. N)

『チョコレート戦争』

大石真作/理論社/1965

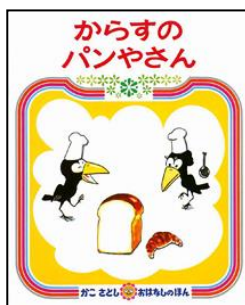


小学三年生の時に題名にそそられて買ってもらって以来、読んだり、紹介するたびにエクレー(エクレア)が食べたくなる本です！

(ボランティアO. Y)

『からすのパンやさん』

かこさとし絵・文/偕成社/1973



初めて間もない頃、お話し会で大型本を使いました。こども達の反応や、やりとりがとても楽しくて、読み聞かせを続けようと思いました。

(ボランティアN. K)

『ハリー・ポッターと賢者の石』

J. K. ローリング作/松岡佑子訳/
ダン・シュレスィンジャー表紙画・イラスト/
静山社/1999



発売当時、小学生のこどもが夢中になり、私とはまった本です。年1回の続編発売日が楽しみでした。

(ボランティアI. K)

『あらまっ!』

ケイト・ラム文/
エイドリアン・ジョンソン絵/
石津ちひろ訳/小学館/2004



我が家のこどもたちが、いままで読み聞かせしてきた絵本の中で口をそろえてイチ押しする1冊です。

(ボランティアN. M)

『ツバメ号とアマゾン号』

(岩波少年文庫) 上・下

アーサー・ランサム作/神宮輝夫訳/
岩波書店/2010



小4の夏、だれとも遊ばずどこへもいかず、帆船とキャンプの世界に没頭。「本さえあれば大満足」を知りました。(職員K. Y)

『すてきな三にんぐみ』

トミー＝アンゲラーさく/
いまえよしともやく/偕成社/1969



小さい頃好きで、何度も繰り返し読んだ絵本。そして、おはなし会で、初めてよみかかせに挑戦した絵本。大切にしたい1冊です。

(職員U. A)

図書館と県民のつどい埼玉 2015

一みんなが「図書館」でつながる日



このイベントは、県民の皆様には図書館や読書に対する関心をより深めていただくよう開催するものです。同時開催する《こども読書活動交流集会》は、家庭・地域・学校・図書館でこどもの読書に関わる人たちの「つながり」と「学び」の場です。ふるってご参加ください。

平成27年12月13日(日) 10:00~16:00 **さいたま市民会館うらわ**
(JR 京浜東北線ほか浦和駅西口より徒歩10分)

午前 **記念講演** (10:00~11:45) **こうして小説を書いている** 荻原 浩氏 (作家) [定員 450]

午後 **こども読書活動交流集会** (13:30~15:30)

◆**報告と交流** [定員 100] 広がる学校図書館の可能性—これまでとこれから 福家めぐみ氏 (学校司書)

◆**わらべうた講座** [定員 30] こどもの心に灯をともしわらべうた 落合美知子氏 (児童図書研究家)

◆**科学読み物講座** [定員 30] 科学の本を、もっと楽しもう! 増本裕江氏 (科学読物研究会会員)

ビブリオバトル(知的書評合戦) (14:00~15:45) (中学生・高校生参加) [定員 450]

全日 **大学・高校・公共図書館部会による展示など**

・高校図書館めぐり展示 ・ブックケア—未来につながる保存の技術— ほか

申込

10/15
受付開始

①記念講座・ビブリオバトル(先着順) / 電話・インターネット **埼玉県立図書館**で検索

②こども読書活動交流集会(抽選) / 電話・FAX・インターネット(締切11月13日)

※詳細は、チラシや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

《お問い合わせ》 **埼玉県立熊谷図書館「つどい」係** [〒360-0014 熊谷市箱田 5-6-1
電話: 048-523-6291 FAX: 048-523-6468]

埼玉県立図書館からのお知らせ

☆読み聞かせ・ストーリーテリング☆

はじめての研修会やってみませんか?

【読み聞かせボランティア団体のための講師派遣】

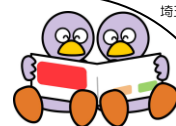
- 対象** 小中学校や幼稚園・地域で 活動するボランティア団体
- 内容** 初心者向け講座(2時間程度)。絵本の持ち方、本の選び方、覚え方、語り方など。
- 講師** 県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者がやさしくアドバイス!
- 申込み方法・期限** 開催の 1か月半前までに、郵送またはメールで申込み
- 問い合わせ** 0480(21)2659 【kuki-jido@lib.pref.saitama.jp】

【https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html (申込書式)】

編集後記 

Shien 第20号の発行となりました。これまでご協力いただいた皆さま、読んで下さった方々に感謝です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(子ども読書支援ボランティアO)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア



埼玉県のマスコット
コバトン

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見 85-5
TEL 0480(21)2659 (代)
FAX 0480(21)2791

